

49号です。おかげさまで任期も残り一年となりました。引き続き、みなさんのご支援をお願いいたします。

豊中らしさを創る

無所属 37歳

豊中市議会議員



温故創新

駅前・街角での3秒間の出会いを、無限大の関係に！日々の活動などはホームページで。

まつおかあきみち

松岡信道と、豊中新時代へ！



市民のみなさんとスクラム、旧態依然としたしがらみにタックル、温故創新でトライ！を合言葉にゴールに向かって走ります。

承久の乱、発端の地

歴史の教科書にも載っている1221年に起こった「承久の乱」はよく知られていますが、現在の豊中市域にあった椋橋之庄が発端の地であることはあまり知られていません。

鎌倉時代の執権政治

朝廷の公家と幕府の武家が権力争いをしてきた時代ですが、東は鎌倉幕府、西は朝廷が強い力を持っていました。鎌倉幕府は將軍の源氏が滅んで以降、北条氏が実権を握っており、將軍ではなく執権による政治が行われました。

亀菊の所領・椋橋之庄

後鳥羽上皇の愛人であった亀菊の所領が現在の豊中市庄本町であったことは椋橋社にも掲示されています。

北条義時が提示した將軍継承案を受け入れる条件として、後鳥羽上皇は亀菊の所領から地頭（幕府の警察）の撤廃を求めました。北条義時は幕府の威信に関わるとしてこの要求を拒否し、幕府と朝廷の関係は決裂して將軍継承にも支障をきたしました。

北条義時VS後鳥羽上皇

後鳥羽上皇が討幕の意思を固めて挙兵し、北条義時は京へ派兵します。この武力衝突が承久の乱であり、敗北した後鳥羽上皇は隠岐島へ流されました。豊中のPRもかねて、こうした歴史を学校でしっかり教えて欲しいです。

自治体ポイントの可能性

ポイントフォーム時代

Tポイントやdポイントなど、民間企業によるポイント制は系列グループに顧客を囲みこむため、覇権争いの様相になっていきます。総務省が主導している「自治体ポイント」の豊中市における導入可能性を検討しました。

マイナンバーカードが必要

自治体ポイントは公共施設の利用料や商店街などで地域通貨として利用できます。豊中市には福祉における「さえあいポイント」や環境における「とよか」など事業別にポイントが存在しているため、自治体ポイントに統一して、汎用性を高めるメリットがあります。一方で、自治体ポイントはマイナンバーカードの機能を利用するため、カード紛失のリスクがあります。

豊中市は独自路線を

豊中市が統一ポイントを導入するのであれば、自治体ポイントよりも、すでに普及している民間ポイントに参入する方が汎用性は高く、市民にとって利便性も高いことから、民間ポイントへの参入を提言しました。

イオンの源流であるスーパー・シロは豊中市が発祥であり、マチカネWAONを発行してきました。豊中市はローソン一号店スタートの地ですから、pontaも良いかもしれませんね。

し尿運搬費用の公費負担

汲み取り式トイレ

豊中市の下水道普及率は100%ですが、公共下水道に排水管をつないでない物件があり、現在も38世帯の汲み取りを行っています。もちろん手数料をいただいておりますが、家庭の経済的な事情から値上げは難しく、物件所有者の協力が不可欠です。

定期収集と臨時収集

前述の生活にともなう「し尿の汲み取り」は定期収集ですが、工事現場やイベントでの汲み取り式トイレは臨時収集に区別されています。臨時収集は28年度において年間971件もあり、経済活動にともなうし尿の汲み取りから、手数料を100%徴収するべきです。

税金投入が3分の2

豊中市はし尿運搬を民間事業者へ委託していますが、その費用は約16百万円です。手数料収入が約5百万円ですから、税金を一千万円以上も投入していることとなります。

これまで臨時収集の手数料は値上げしてきたものの、マンション建設現場でのし尿を汲み取るのに、なぜ税金が3分の2も使われるのでしょうか。税金を投入しなくても、マンションを販売すれば支払いができるはずですが、市民の理解が得られる料金体系にすることを議会で追求しています。

とよなか創政記

議員定数削減を採決！

市議会のあり方について議会改革の私案として、現在36名の議員定数を段階的に20名まで削減し、議論の活性化を促す。ただし、議員の調査研究と立法能力を向上するため、議員一人に秘書を一人つけることを条件として提案してきました。現状から比較すると極端な意見ですので、議会でなかなか受け入れられません。私は目指すべき議会の姿であると信じています。

支障をきたす定数ではない

人口急増期において、豊中市議会は法定定数（上限）が40名から48名まで拡大されるなか、条例で定数を36名から40名まで拡大しました。人口が史上最多の41万人を超える時に条例定数は40名でしたが、38万人まで人口が減少する中で、自主的に現在の36名まで削減しました。こうして議員一人あたり人口1万人という目安ができました。

しかしながら、財政再建や生産年齢人口の減少などにより、さらなる定数削減の議論をしてきました。

近隣自治体や類似した自治体と比較

しても、人口規模における議員定数の水準は高く、豊中市議会の議員定数36名は妥当とも言えます。市議会が現状の36名であることによって、運営上は特段の支障があるとも言えません。

twitter(matsuokaakimich)に加え、facebook、Instagramでも情報発信中！みなさんのフォローをお願いします。

徹夜議会の果てに

私は近年の政治不信や政治的無関心の世相をうけて、議会がより活性化するため、自主的に定数削減を行い、経費を捻出することは必要と考えています。これは上記の私案に通じる考え方で、目指す議会の姿には何ら変わりません。

私が所属する会派「無所属の会」は、豊中市議会が4つの常任委員会で運営されていること、議員一人あたりの人口を1万2千人とすることから、4名削減を提案しました。また、今後の人口減少を見据えて、人口が35万人を下回った場合には28名まで議員定数を削減することに言及しました。

根拠のない削減案

削減の提案はこのほかに「現状から大きな支障をきたさない範囲」ということで2名削減、「現行の2割削減」ということで7名削減が提案されました。しかしながら、市議会が4つの常任委員会で運営されていること、過去の議員定数の変更が4の倍数で行われてきたことを勘案すると、いずれの提案も説得力がなく、定数削減が目的となり、議会運営の観点から本末転倒です。

閉会中の継続審査を経て、3月議会初日に4名削減案は賛成少数で否決されました。その後、2名削減案は4名削減の第一歩として私たちも賛成し、賛成多数で可決されました。次回の市議会議員選挙から定数34名になります。

定数削減は手段である

市民の皆さんからは「議員の数を減らせ」と厳しいご意見をいただきました。私が「何のために削減しますか？」とお尋ねすると、「働かない議員はいらない」という答えをよくいただきました。ところが、働いていない議員をご存知ないようですし、実際に働いていない議員はいません。こうした議員不要論のようなご意見とは、私は折り合えません。民主主義であるかぎり、誰が務めるかは別として、議員は必要です。

短期的には豊中市の人口は40万人に迫る増加傾向です。議員の中でも定数削減には反対意見もありますし、市民の方から定数削減反対の意見書も提出されています。長期的な人口減少・高齢社会の中で、最低のコストで豊中市の民主主義を実現し、市議会を活性化していくため、定数削減はその手段の一つだけではありません。

議員の人権と当事者意識

働いていない議員がいた場合、私たちにできることは①働く議員に投票する②自ら立候補して議員になるという選択ができます。投票率が40%程度の社会では、議員にも緊張感がなくなってしまうのかもしれない。

議員にも人権があります。議員を批判する方の多くは、自分は議員にならないことが前提になっていないでしょうか。まず投票に行くことから始めませんか。

学生の方に・・・社会勉強のために市議会に来ませんか？ 議会インターンシップ、子どもと関わるボランティアも募集しています。

不在時は職員に連絡先をお伝えください。

TEL:06-7178-7785 (携帯転送)

FAX:06-6852-2384 (議会控室)

Mail:office@matsuoka-akimichi.net

〒561-8501 豊中市中桜塚3-1-1

※せつかくご連絡いただいても、ネット環境の不具合やFAXの印刷不鮮明などで、お返事できない方がいらっしゃいます。恐れ入りますが、一週間以内に返信がない場合、再度ご連絡いただければ幸いです。

※市議会会派：無所属の会として編集、発行しており、お問い合わせは上記までお願いいたします。なお頒布にあたっては、政務活動費の一部を利用させていただきます。

【伝言板】

- 緑と白のストライプが基調の衣服等を探しています。ネクタイ、ジャンパー、手袋、バッグなど、緑と白の縞模様を見つけたら、写メールなどで「ここで売ってるよ！」と、ご一報いただけたら幸いです。
- 市内全域に活動範囲を広げて、東奔西走しております。「よく見かけますけど、新人の議員さんですか？」と言われることもあります。皆さんの応援の輪を広げていただければ幸いです、よろしく願いいたします。
- 「松岡あきみち」の看板(緑色、150 cm×40 cm)を人通りのある、目立つところに設置させていただきます。
- 活動経費として、皆様からのカンパをいただければ幸いです。ビール1杯、スイーツ1皿分で結構です、ご支援よろしく申し上げます。
- お住いの向こう三軒両隣、マンションの集合ポストへ「温故創新」を配布して下さるボランティアの方を募集しています。

【略歴】

しんでん幼稚園
市立南丘小学校
市立第九中学校
府立北野高校
同志社大学法学部政治学科
大阪府信連(JAバンク大阪)



【議員歴】

2007年 初当選 (2,791票)
2011年 2期当選 (5,457票)
2015年 3期当選 (6,024票)
第73代副議長

【2017年度】

環境福祉常任委員会
総合計画等調査特別委員会